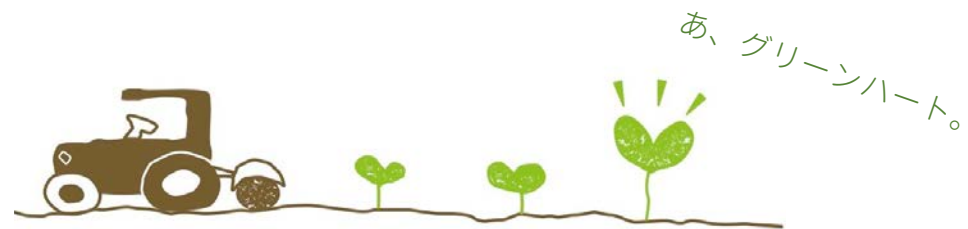


アグリーンハートが描く地域農業の未来

株式会社アグリーンハート 代表取締役 佐藤拓郎





株式会社 アグリーンハート



笑顔農業
感謝農業



法人設立：2017年1月

経営規模：60ha（自然栽培 水稻7.5ha / 野菜1.5ha）

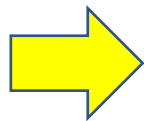




アグリーンハートの取組

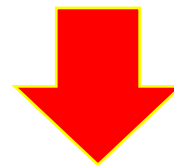
農家の減少

- ・ 高齢化によるリタイア
- ・ 機械を更新できない



地域の生産力の低下

- ・ 10年後、地域はようになる？
- ・ 20年後、経営体はいくつ残る？



地域農業の未来を見据えた2つのビジネスモデルを実践中！





【低コスト大量生産型】

面積を拡大できる(機械を更新できる)大型農家・農業法人による**企業農業**。

平地に向き、リタイア者から急激に集まりだす農地に対応する作型。

↳ 4種類の直播技術の導入 / スマート技術の導入

2017 = 33ha

2018 = 39ha

2019 = 48ha

2020 = 51ha

【高付加価値生産型】

栽培方法などにこだわった生産方法で地域性やストーリーを伝えるような

農産物の生産をする**職人農業**。山間地に向き、休耕地再生につながる作型。

↳ 自然栽培技術の導入 / 有機JASの取得 / 農福連携 / スマート技術の導入

2017 = 0.6ha

2018 = 3ha

2019 = 9ha

2020 = 9ha

＊平成30年度 未来につながる持続可能な農業推進コンクール 有機部門：生産局長賞受賞

GPS直進アシスト 湛水直播



V溝乾田直播



ドローン直播 (打込式・条播・自動飛行)



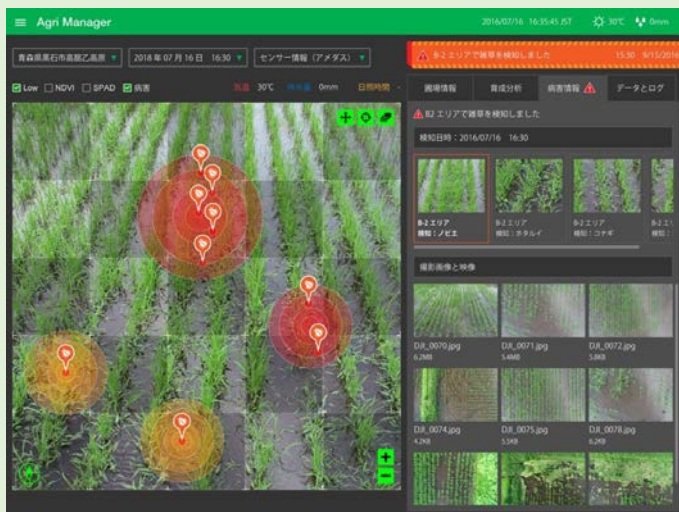
越冬直播





低コスト大量生産への導入技術 ②

人工知能による雑草検知システム



ピンポイント除草剤散布



Agri-note (生産工程管理アプリ)



- ・従業員のパフォーマンスの可視化
- ・単位圃場でのコストがわかる
- ・作業者、作業日、作業内容、使用機械、使用農薬、使用量、作業時間が写真付きで記録できる
- ・GPSで現在の場所が確認できる
- ・Field Serverとの連動
- ・作業機との連動

リモート 入水・排水装置





自然栽培

～無農薬、無肥料、無堆肥～

安心安全の提供と、SDGsへの取り組み。

持続可能な有機農業を目指して。



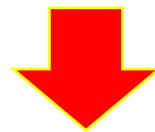


その前に…

なぜ有機農業を始めたか。

- 近い親戚が病気で障害者になってしまった。
- 友人の子供が障害を持って生まれた。

「活躍できる居場所」「生きがいを感じられる場所」を農業から何か確立できないか。



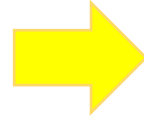
障害者雇用を考えた結果、冷凍加工での6次産業化に辿り着く





2012
野菜の冷凍加工で6次化

数年前、時代は6次産業推進。
「ボイル→パック→冷凍」
は障害者でもできるんじゃない？



2013～
冷凍技術の勉強 / 加工場視察

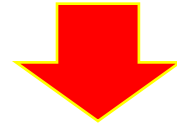
- ・旬を止めることができる
- ・中食率が上がってきた
- ・事業計画をブラッシュアップ

しかし、事業計画中に壁にぶつかり計画中断。

「生アスパラと冷凍アスパラが同じ値段であったら、どっちを買いますか？」



加工する前の野菜に価値が必要

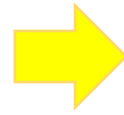


有機農業開始！





2013.4～
初めての有機農業は小さい圃場
を選んで試験。しかし…
周りの人から大ブーイング。。



しかも周りに慣行栽培圃場
があると、どうしても肩身が狭い。。
さらに中干し時期には地域の水路
から水がなくなってしまう。



水が自由に使え、誰の邪魔にもならない地域はないものか…
市の担当課に相談



市「うちの市の山間地には230haの休耕地がありますよ」



そこ、最高じゃないですか





『自然栽培でふるさと再生』

黒石市 安入地区



自然栽培とは…

無農薬

無肥料

無堆肥

の農業。

作り手がなくなった
耕作放棄地・休耕地を
自然栽培で再利用し、
高付加価値をつけて販売。

(全域で有機JAS認証取得)





休耕地を転換し、ふるさと再生。

十数年以上、ただ保全管理されていた水田を、昔ながらの知恵と技術で土作り…





休耕地を転換し、ふるさとを再生。

懐かしい景色が蘇る





有機栽培により蘇る生態系

絶滅危惧種 イシガイ



タニシ、カワニナ



畔をカモシカの親子が散歩



水田の中にナマズ





自然栽培に触れてもらう「コトづくり」

木村秋則氏による自然栽培塾に圃場提供



保育園児と食育



自然栽培で新規就農を目指す女性を
期間雇用で受け入れ



地元中学生の職業体験



障害者の雇用



地元テレビ局で自然栽培企画





土づくり、人づくり、笑顔づくり





つくっているのは商品ではなく「価値」
伝えたいのは米ではなく、そこにある物語。

・真空パック ・品種未公開 ・化粧箱入 ・年産表記 ・シリアルナンバー入

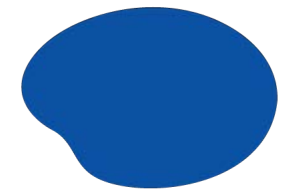


PREMIUM





今年始めた取り組み



DAITA DESICA
from aomori

小田急線 世田谷代田駅前

世田谷代田住民と一緒に有機米づくり！





アグリーンハートがあなたの「田舎」「ふるさとの味」を有機栽培でつくります。

だいたんぼプロジェクト



- ・入会費(5,000円)でクルー登録
- ・農作業日誌を送信
- ・要の作業は動画配信
- ・いつでも農作業しにきてOK
- ・収穫されたお米は会員価格で販売

<自社アプリ開発中>

- ・注文と決済が可能
- ・宅配(置き配)情報
- ・いつでも田んぼの状態を見れる
- ・お店のロス(特売品)情報





私が感じている

有機農業の可能性

障害者雇用

- ・ 作業の種類が増えると生産性が下がる → 単価を高くできるもので採算ベースに乗せる
- ・ 化学物質過敏症の人が多い → 無農薬なので問題なし
- ・ 自然に触れることで症状が良くなっていく

「安心・安全」の次の価値

「どれだけ地球環境に優しい農業を実践しているか」が強みになる。

野菜本来の栄養価

化学農薬・化学肥料を使用しないことで野菜の栄養価が向上する





私が感じている

有機農業の可能性

マーケットインで無駄なく休耕地転換・規模拡大していくことが可能

現在9割以上が契約栽培。蕎麦、にんにく、バジル、大豆など、クライアントの要望(数量・加工形態)に合わせて、休耕地を賃貸契約し生産をして有機JASを取得する。新規就農希望者との連携や障害者雇用で労働力は確保している。

【課題】 有機市場の狭さ

青森県はどうしてもオーガニックマーケットが狭い為、スポットで大量に採れた農産物がすぐ余剰になる。ロスをなくし、収入面で経営の安定にもつなげたい為、余剰分が加工できる体制が理想的。冷凍加工計画は生産体制が安定してきた為、2019年6月に冷凍加工会社【株式会社バイオ・フローズン】を設立。



New
Organic
Lifestyle





私が感じている

有機農業の可能性

地域として生き残るための手段にもなる

- 人口減少・消費量減少(米)に伴い、国内の産地間競争は激戦化し、供給(販売)のフィールドは世界を向いていくと考えられるが、有機市場はまだ国内で伸び続ける。
- 地域の特性が味になりやすく、おいしさに独創性がある為、価値化しやすい。
- 「働けるが機械を更新できないため廃業するしかない」農家が生き延びる手段になる。





アグリーンハートの目標

有機農業で稼げることを証明したい

慣行栽培をしている農家がやりたくなる有機農業を形にしていく。



ご清聴ありがとうございました。